

【注】集団検診において下記に該当する方は検診を受けることができませんのでご注意ください。

【胃がん検診を受診できない方】

- ・妊娠中または妊娠の可能性のある方
- ・昨晚の午後9時以降に食事（ガム等を含む）をされた方、お茶・水以外の飲み物を飲まれた方。
- ・検診当日の朝、お茶・水を100ml以上飲まれた方。（薬の服用時も含む）
- ・これまでに胃・十二指腸の開腹手術や腹腔鏡下手術（お腹を切らないでお腹にカメラを挿入して行う手術）を受けたことがある方。
- ・現在、胃がん・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・腸閉塞などの胃・十二指腸関連の疾患の診断で、治療中の方。
- ・バリウムアレルギーのある方、下剤の過敏症のある方、すなわちバリウムや下剤を飲んで、体が痒くなったり、舌がしびれたり、体調が悪くされた経験のある方。
- ・過去に、バリウムや食べ物が気管や肺に入り込んで、病院（医院）で誤嚥と診断されることがある方。
- ・腎機能障害で透析中の方。 ・腹部に何らかの症状（痛みなど）がある方。
- ・身体が不自由で、体位変換や手すりを保持できない方。 ・検診日当日に血圧が高い方。
- ・天板(寢台)の強度上、体重が135kgを超える方。

【受診前に必ずかかりつけ医にご相談していただきたい方】

- 以下のような腸疾患を治療中、もしくは治療を受けたことのある方。
炎症性疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）で治療中の方。
- 現在、何らかの疾患で、水分制限・運動制限のある方。
- 腹部手術を受けたことのある方。
- 便秘が強く、お薬を飲まれている方。
- 検査前3日間（72時間）排便のない方。
- 心疾患、呼吸器疾患で1年以内に手術された方。
- 虚血性心疾患、脳血管障害で1年以内に発作があった方。
- 心臓ペースメーカー又は除細動器を使用している方。
- 脳圧亢進シャント中の方、または、脳血管障害・頭部手術を1年以内に受けられた方。
- 喘息発作時の治療中の方。



【肺がん検診を
受診できない方】

- 妊娠中または妊娠中の可能性のある方。

【大腸がん検診を受診できない方】

- 腹痛や下痢等、消化器症状のある方
- 痔出血のある方。

【乳がん検診（マンモグラフィ検診）を受診できない方】

- ・妊娠中または妊娠中の可能性のある方。（胎児へのマンモグラフィの安全性が証明できないため）
- ・ペースメーカーを装着されている方。（ペースメーカー本体に大きな圧力がかかり破損する可能性があるため）
- ・豊胸術や乳房再建手術をされて、乳房にシリコン等の人工物を入れられた方。（所見を十分に映し出すことができない可能性が強く、またシリコンパックなどを破損させる可能性があるため）
- ・胸部にリザーバー（ポート）を装着されている方やV-Pシャントカテーテルが施行されている方。（胸部のリザーバー（ポート）やV-Pシャントカテーテルが破損等の可能性があるため、安全のためお断りさせていただきます。）
- ・授乳中の方。
- ・乳がんの手術や乳房再建手術をされてから、1年未満の方。

【子宮頸がん検診を受診できない方】

- ・生理中の方。（細胞の採取が困難なため、お断りさせていただいています）
- ・最近6ヶ月以内に次のような症状がある方は、医療機関を受診してください。
 - 不正性器出血（定期的な生理以外の出血や閉経後出血）のある方。
 - 月経異常（過多月経や不規則月経等）のある方。
 - 褐色帯下（褐色のおりもの）のある方。
- ・妊娠中の可能性のある方、または妊娠中の方。（かかりつけの医療機関で受診してください）
- ・子宮がん等で医療機関（婦人科等）において、治療中の方及び経過観察中の方。
- ・性交渉の経験のない方。
（子宮頸がん発生の大きな原因となるHPVの感染機会がありませんので、子宮頸がん検診の必要性は低いです。症状等があり受診を希望される方は病医院へのご受診をお勧めいたします）